cmos小型バックカメラ
取付説明書・取扱説明書

AN-C100R

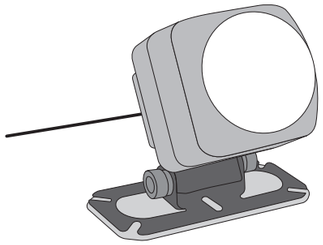
取り付けや接続、その他ご不明な点は下記製造元にご相談ください。

製造元 KEIYO
株式会社 慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル
TEL：03-3431-8151（代表）
TEL：03-3431-8154（サービス）
受付時間 10:00～17:00　月曜日～金曜日
（祝祭日および当社休日を除く）

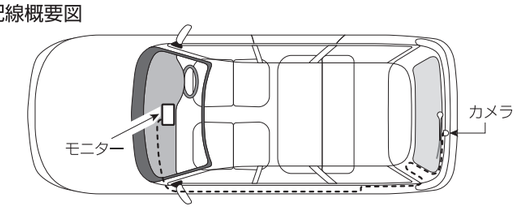
お買い求めいただき、ありがとうございます。

●安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取付・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。
●お読みになったあとは下の保証書と一緒にいつでも取り出せるよう大切に保管しておいてください。

カメラ本体

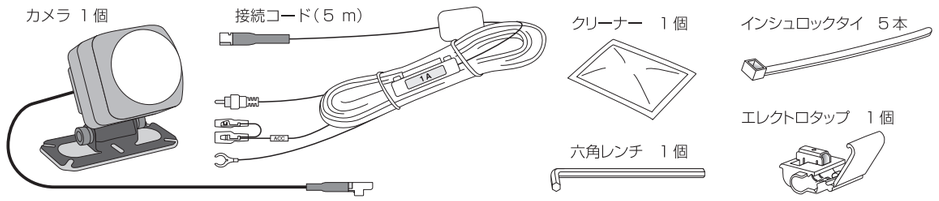


配線概要図



注意1：ナビゲーションシステムによっては別途接続コードが必要となる場合があります。
注意2：事故防止のため作業前には必ず車体を水平な場所に置き、しっかりとハンドブレーキを掛けて動かない状態にします。また、バッテリーのマイナス端子も外してください。

構成部品



取付・取扱説明書

KEIYO 株式会社 慶洋エンジニアリング
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル

⚠ 安全上のご注意

お取り付け、ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の２つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告事項

●本取付・取扱説明書に準拠した接続をしてください。 本火災や事故の原因となります。	（強制）
●コード類は、取り付け方法の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておいてください。 ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となります。	（強制）
●本製品の改造、分解はしないでください。 火災やけが、故障の原因となります。	（分解禁止）
●本製品は、DC12V⊖アース車専用です。DC24V車には取り付けないでください。 火災などの原因となります。	（禁止）
●本製品、または車両のヒューズが切れたときは、必ず規定容量の新しいヒューズに交換してください。 規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。	（強制）
●本製品は、車載用ですので他の用途には使用しないでください。 火災や感電等の原因となります。	（禁止）
●コード類の配線は高熱部を避けてください。 ケーブル線類の被覆が溶けて、事故や火災の原因となります。	（強制）
●車体やネジ部、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまないでください。 断線やショートにより事故や感電、火災の原因となります。	（禁止）

⚠ 注意事項

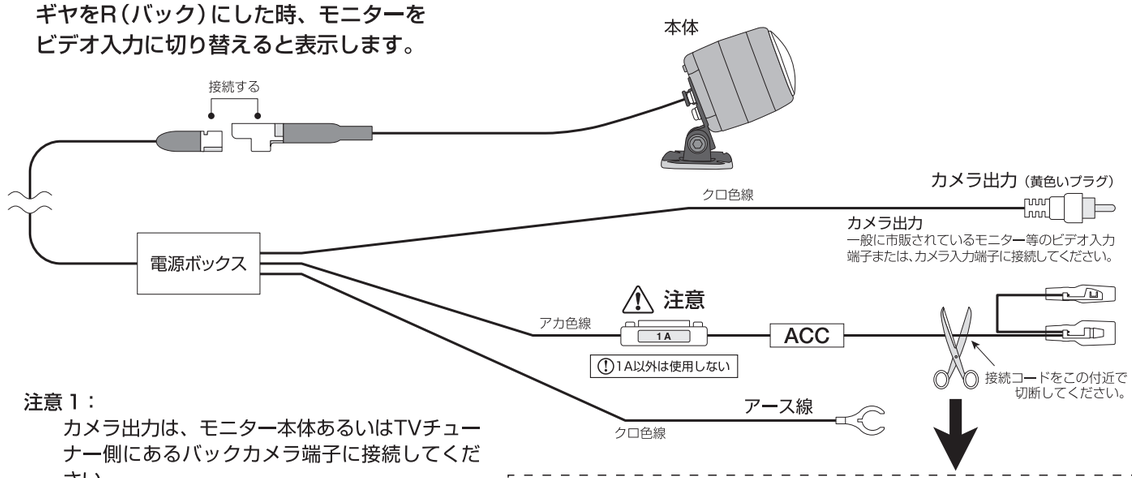
●後退するときは直接自分の目で後方の視界を確認してください。 カメラが映し出す範囲には限界がありますので、必ず自分の目で後方および周囲の安全を確認してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、重大事故の原因となります。	（強制）
●ゆっくりした速度で後退してください。 カメラが映し出す映像は、広角レンズを使用しておりますので実際の距離と感覚が異なり、速度を上げての後退は人や物にぶつかる恐れがあり、重大事故の原因となります。	（禁止）
●カメラには高圧洗車をしないでください。 カメラ内部に水が入り、カメラのレンズに結露等が発生したり、故障や火災・感電の原因となります。高圧洗車をする場合はカメラの周囲部に直接かけないでください。また、洗車機にかける場合は直接カメラにブラシが当たらないように注意してください。	（禁止）
●カメラに強い衝撃は与えないでください。 カメラ部は精密機器のため強い衝撃を与えると、故障や火災・感電の原因となります。	（禁止）
●カメラの窓部分にキズをつけないでください。 モニター画面への影響がでることがあります。また、泥、雪、ボディワックスなどが付着した場合は、ぬるま湯や薄めた中性洗剤をしみこませた、柔らかい布で拭き取ってください。（アルコール、ベンジン、シンナー等でカメラ全体を拭かないでください。変色などの原因となります。）	（禁止）
●両面テープが付いている部分は、指でさわったり、貼り直したりすると、粘着力が弱まるので、取扱いには十分注意してください。 両面テープの粘着力が低下し、はずれると注意散漫になり、事故やけがの原因となります。	（強制）

仕　様

撮像素子	1/4インチ	C-MOSセンサー（30万画素）
レンズ	画角	水平　97°
		垂直　77°
撮像性能	最低被写体照度	10Lux以下
	ビデオ出力	NTSC 1Vp-p/75Ω
電源電圧	DC 10 V～16 V	
消費電流	70 mA（無負荷）	
環境条件	温度　−20℃～+70℃ ※この温度以外でカメラを作動すると、モニターの画面が白く濁りますが故障ではありません。カメラのレンズ周りが常温に戻れば、モニターの画面はもとにもどります。	
外形寸法	25 mm×25 mm×33 mm（ブラケット部を除く）	
本体質量	約45 g	

配線図

ギヤをR（バック）にした時、モニターを
ビデオ入力に切り替えると表示します。

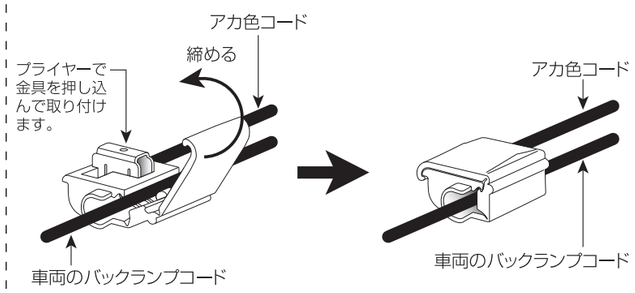


注意１：
カメラ出力は、モニター本体あるいはTVチューナー側にあるバックカメラ端子に接続してください。

注意２：
ナビゲーションシステムやモニターの機種によっては、バックカメラ端子は映像入力端子（ビデオ入力）と表示されている場合もあります。また、ナビゲーションシステムによっては、カメラ入力設定が必要となる場合があります。（詳細はナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。）

注意３：
バック連動機能が付いていないナビゲーションシステムやモニターをご使用の場合は自動的にバック映像になりません、その場合は手動でビデオモード（ビデオ入力）に変更してください。

●エレクトロタップ



カメラの調整方法

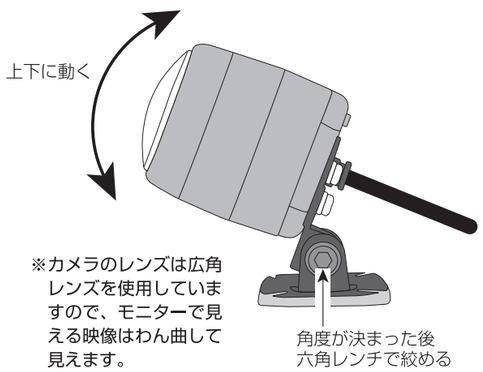
1．イグニッションスイッチをONにしてください。
（エンジンは停止状態です）

2．シフトレバーをR（リバース）にし、カメラ映像を映してください。（バック連動機能がない場合は手動でビデオモードにしてください。）

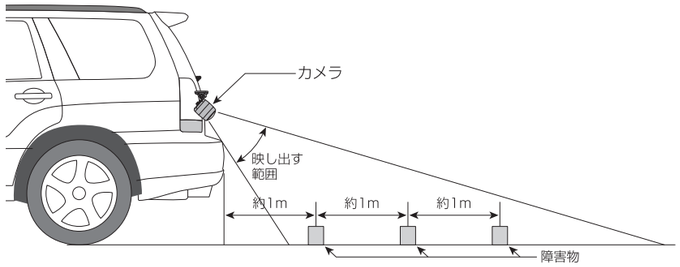
3．車の後方約1 mの所に目印になる様な障害物を置いてください。
- カメラ本体は上下に動かすことができますので、見える範囲をモニター画面をみながら調節してください。
- 車の後方の障害物と車のリヤーバンパーがモニター画面で見えるような映像をお勧めします。
- 調節が終わりましたら六角レンチでボルトを絞めてください。

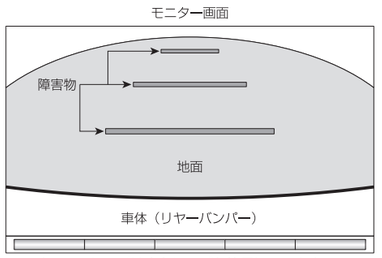
※次のような場合は、カメラの映像が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
- カメラ温度が−20℃〜＋70℃を超えると映りが悪くなる事があります。
- 夜間と暗い所で強い光りが入ると見づらい場合があります。
- 広角のためライセンスランプの光りがレンズに反射し見づらくなる場合があります。
- 太陽光がカメラに入る角度によっては、画面が赤くなる場合があります。
- 映像が映る時に若干の画面のみだれが出る場合があります。

※本カメラのご使用により受信状態の悪い（微弱電波）のラジオ放送では雑音が入る場合があります。



カメラの映し出す障害物の距離と感覚



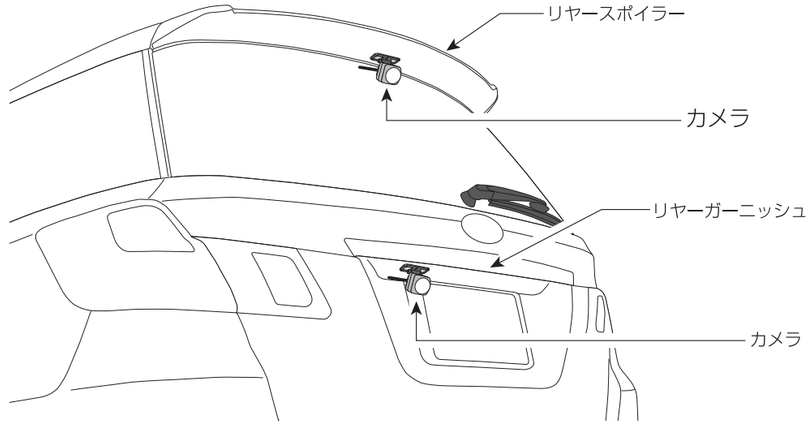


※カメラのレンズは広角レンズを使用していますので、
モニターで見える地面はわん曲して見えます。

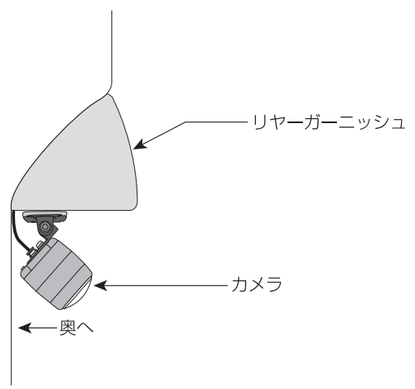
バックモニターカメラ取付例

「道路運送車輌の保安基準」の「外装技術基準」の改定により、2009年１月１日以降に新車登録されたお車への本製品取付けに際しては、下記の位置に取り付けていただくようお願いします。
※下記以外の位置に取り付けをされた場合は、保安基準に適合しない場合があります。

リヤーガーニッシュ及びリヤースポイラー取付例

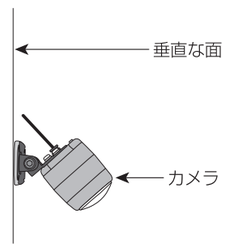


■リヤーガーニッシュ取付例



カメラの角度調整が出来る範囲で、
なるべく車両本体に近づけてください。

■リヤーガーニッシュ取付出来ない場合



1．リヤーガーニッシュに貼り付ける事が出来ない場合は、垂直な面に貼り付けます。
2．ウラ面にあるカメラとブラケットが組み付いている２箇所のネジを取り外します。
3．空いている２箇所のネジ穴にブラケットを組み付けて、垂直面に貼り付けます。